

# 目 次

はじめに .....	i
調査研究体制 .....	ii
総括研究報告書 .....	iii
目 次 .....	1
1. 費用対効果評価の標準的な分析手法開発 .....	2
1) 有効性・安全性のシステマティックレビューの標準的手法の検討 .....	2
2) 第2次「医療と薬剤の費用効果分析に関する委員会」勧告の概要報告 .....	5
2. 費用対効果評価のための標準的ツールおよびデータソースの確立 .....	12
1) NDB を用いた費用分析 .....	12
附表 1 .....	128
附表 2 .....	177
附表 3 .....	325
2) EQ-5D-Y 日本語版（修正版）の開発 .....	434
3) EQ-5D-Proxy 日本語版の開発 .....	444
4) マッピングについて .....	458
3. 総合的評価（アプレイザル）のあり方 .....	523
1) 費用対効果の閾値の考え方について .....	523
2) 複数の適応を持つ医薬品の評価について .....	528
4. 諸外国の HTA 機関の調査 .....	533
1) 英国 NICE(National Institute for Health and Care Excellence)の変容 -CEA approach から Budget Impact approach へ .....	533
2) 調査報告： Horizon Scanning と UK PharmaScan について .....	538
5. 安価で且つ医療に必須な基礎的医薬品の在り方検討 分担研究 .....	549